

研究課題番号	5-2003
研究課題名	化学物質体内動態モデル及び曝露逆推計モデル構築システムの開発
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	磯部 友彦

## 1. 委員の指摘及び提言概要

化学物質の体内動態モデル構築に必要な各種データなどの具体的な成果が得られ、順調に進捗しており、新たな介入試験という手法で、興味深い異なる傾向が認められている。介入試験によるデータに基づいて、物質ごとの特性を明らかにすること、モデル化もエコチル調査のデータの解釈にとって有用と思う。一方、非常に網羅的で意欲的な研究だと思うが、研究計画に関わる基礎的なアイデアを支える概念に混乱が見られるので、整理してほしい。逆推計のイメージや構造が明確ではなく、最終的なモデルの形がまだ見えてこない。まずはモデルを想定して、そのためにどの実測データが必要かを検討しておいた方がよい。

## 2. 採点結果

評価ランク：A